

# 2020年度 活動報告書

---

文部科学省 研究拠点形成費等補助金（先進的医療イノベーション人材養成事業）  
多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン

— 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン —

慶應義塾大学大学院

薬学研究科



# 目次

はじめに	1
薬学研究科がんプロ実施体制	2

---

## 薬学研究科主催研修会

2020年10月4日開催 2020年度 慶應義塾大学薬学部 公開講座 第1回慶應義塾大学薬学がんプロフェッショナル研修会	3
2021年1月17日開催 2020年度 慶應義塾大学薬学部 市民公開講座 第2回慶應義塾大学薬学がんプロフェッショナル研修会	33

---

## はじめに



### 慶應義塾大学大学院 薬学研究科 研究科委員長

教授 三澤 日出巳

2020年度は、第3期がんプロフェッショナル養成プランの4年目を迎え、新型コロナウイルス感染症拡大により様々な活動が大きく制限されるなか、可能な限り活動を行ってまいりました。

まず、大学院コースでは昨年度に引き続き4名の博士課程大学院生が、がんプロコースを履修し研究活動を行いました。インテンシブコースでは、6月にはがん研究会有明病院 先端医療開発センター 古川孝広先生および国立がん研究センター研究所 濱田 哲暢先生にご講演いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら開催中止となりました。

10月には、免疫チェックポイント阻害薬を取り上げて国立がん研究センター 高島 淳生先生、日本大学医学部附属病院 葉山 達也先生によるご講演の後、がん研究会有明病院 川上 和宜先生にコーディネーターを務めていただき、徹底した感染拡大防止策を講じたうえで、少人数による症例検討会を行いました。

1月の市民公開講座では、埼玉県立がんセンター 中山 季昭先生に抗がん薬の発がん性と対策について、Webセミナーとしてご紹介いただきました。

第3期がんプロの最終年度となる2021年度は、薬剤師部会の活動を中心に、他大学と連携した取り組みにも注力したいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



### 慶應義塾大学大学院 薬学研究科 コーディネーター

教授 服部 豊

2017年度にスタートした「多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)』養成プラン」の4年目を迎える本年度は、新型コロナ禍により博士課程ではがん専修特論Ⅰは開講できませんでした。同特論Ⅱの症例検討会は無事終了することができました。インテンシブコースでは、最新のがん薬物療法に関する医師やがん専門薬剤師による講義と症例検討を通じ、近年のがん治療の進歩を理解し、薬剤師として新しい治療に主体的に取り組む薬剤師の養成に貢献しました。

特筆すべき点として、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度は一部の研修会が開催中止を余儀なくされましたが、オンラインを活用したWeb形式での研修会の実施や、感染防止策を徹底したうえで会場での研修会を開催することにより、薬剤師養成の機会を継続して提供することができました。さらに、他大学との連携をとるために、薬剤師部会のミーティングを定期的に開催し、各種の活動に関して情報交換を行いました。最終年度となる2021年度は、万全の感染対策をとり、適宜Web講義を組み入れて、予定通りの活動を遂行してゆきたいと思っております。

参考)参加8大学12研究科:東京医科歯科大学(代表校、大学院医歯学総合研究科)、秋田大学(大学院医学系研究科)、慶應義塾大学(医学研究科、薬学研究科、健康マネジメント研究科)、国際医療福祉大(医学研究科、薬学研究科、医療福祉学研究科)、聖マリアンナ医科大学(大学院医学系研究科)、東京医科大学(大学院医学系研究科)、東京薬科大学(薬学研究科)、弘前大学(大学院医学系研究科)

# 薬学研究科がんプロ実施体制

事業総括

学部長/研究科委員長

教授 三澤 日出巳

薬学部がんプロ運営委員会委員

コーディネーター

病態生理学講座

教授 服部 豊

薬学部がんプロ運営委員会委員

化学療法学講座

教授 杉本 芳一

薬学部がんプロ運営委員会委員

医療薬学・社会連携センター

医療薬学部門

教授 中村 智徳

薬学部がんプロ運営委員会委員

医療薬学・社会連携センター

社会薬学部門

教授 山浦 克典

薬学部がんプロ運営委員会委員

医薬品開発規制科学講座

教授 漆原 尚巳

薬学部がんプロ運営委員会委員

薬効解析学講座

教授 松元 一明

薬学部がんプロ運営委員会委員

薬物治療学講座

准教授 齋藤 義正

薬学部がんプロ運営委員会委員

病院薬学講座

准教授 青森 達

未来がん医療プロフェッショナル養成  
プラン専門部会 薬剤師部会担当

薬学部がんプロ運営委員会委員

医療薬学・社会連携センター

医療薬学部門

専任講師 河添 仁

医療薬学・社会連携センター

医療薬学部門

助教 横山 雄太

2020年10月4日(日)

9:30~16:50

慶應義塾大学 芝共立キャンパス

2020年度

慶應義塾大学薬学部 公開講座

第1回 がんプロフェッショナル研修会

---

免疫チェックポイント阻害薬を使用する患者への  
pharmaceutical care の実践

◆ 講演

胃がんの病態生理

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院

消化管内科 医長 高島 淳生

◆ 講演

免疫チェックポイント阻害薬の薬効薬理と  
副作用マネジメント

日本大学医学部附属板橋病院

薬剤部 主任 葉山 達也

◆ 症例検討会 コーディネーター

公益財団法人がん研究会有明病院

薬剤部 臨床薬剤室長 川上 和宣

◆ 症例検討

免疫チェックポイント阻害薬を投与されている患者に  
必要なフォローアップの実践

公益財団法人がん研究会有明病院

薬剤部 小林 一男

受講資格：薬剤師

受講者：33名

# 第1回がんプロフェッショナル研修会

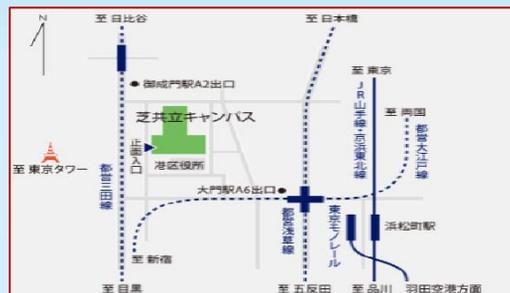
2020年 10月4日(日)

9:30-16:50 (受付 9:00~)

・定員：30名 / 受講料：3,000円

・申込締切：9月4日(金)

・会場：慶應義塾大学 芝共立キャンパス 2号館4階460大講義室



## 免疫チェックポイント阻害薬を使用する患者への ファーマシューティカルケアの実践

### プログラム／午前

9:30～ 9:35 開会挨拶

9:35～10:05 【講演】「胃がんの病態生理」

高島 淳生(国立がん研究センター中央病院 消化管内科 医長)

10:05～10:35 【講演】「免疫チェックポイント阻害薬の薬効薬理と副作用マネジメント」

葉山 達也(日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 主任)

10:35～11:25 【症例検討】「免疫チェックポイント阻害薬を投薬されている患者に必要なフォローアップの実践」

小林 一男(公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部)

11:25～12:00 SGD(スモールグループディスカッション)

13:00～15:00 SGD(スモールグループディスカッション)

15:10～15:45 発表

15:45～16:50 解説・ロールプレイ・質疑応答

### プログラム／午後

<コーディネーター>

川上 和宜(公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部 臨床薬剤室長)

<ファシリテーター>

川上 和宜(公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部 臨床薬剤室長)

葉山 達也(日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 主任)

藤堂 真紀(埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 主任)

小田 泰弘(国家公務員共済組合連合会虎の門病院 薬剤部)

徳留 雄太(帝京大学医学部附属病院 薬剤部 主任)

大橋 養賢(国立病院機構東京医療センター 薬剤部がん薬物療法研修マネージャー)

宇田川涼子(国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 薬剤部 主任)

中島 寿久(国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 薬剤部 主任)

小林 一男(公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部)

谷川 大夢(東海大学医学部付属病院 薬剤部)

**薬剤師業務に従事し、がん患者の方に関わっている方に適した研修会です。**

\* SGDは密集を避けるため、遠隔会議システム(Webex等)を利用して実施する予定です。

<取得可能単位>

・慶應義塾大学薬学部 生涯研修認定単位 4単位

・日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師講習(研修)認定単位 3単位

・日本医療薬学会 がん専門薬剤師講習会・教育セミナー認定単位 3単位(申請中)

\*終了後、症例サマリーを作成、期日までに提出して頂きます。プログラム全てを受講し、課題を提出した受講者にのみ単位認定いたします。

<申込方法>

・下記生涯学習Webサイトからお申込下さい。  
受講料の振込みをもって受講申込となります。

・HP [https://cpec.pha.keio.ac.jp/o\\_class/list.html](https://cpec.pha.keio.ac.jp/o_class/list.html)

\* 個人情報の取扱: 申込時に提供された個人情報は受講者管理及び御案内の発送以外の目的には使用いたしません

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期・中止になる可能性があります

■主催：慶應義塾大学薬学部

■共催：文部科学省 多様な新ニーズに対応する

「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

■問い合わせ先：慶應義塾大学大学院薬学研究科

がんプロフェッショナル事務局

〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30

E-mail : kyg-sympo2@adst.keio.ac.jp

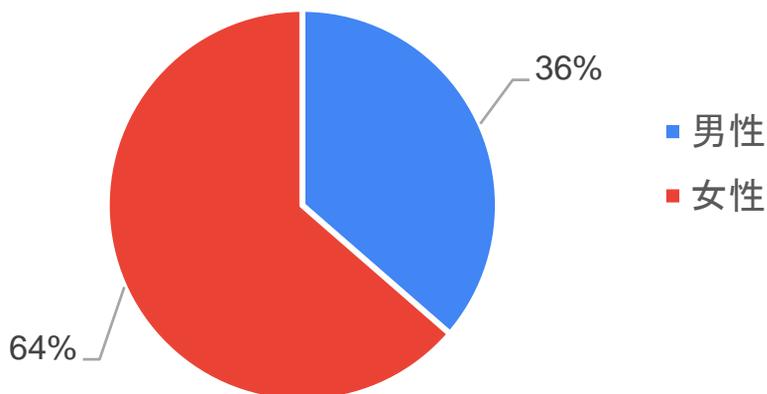
日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師講習(研修)認定/日本医療薬学会 がん専門薬剤師講習会・教育セミナー認定

# 第1回 がんプロフェッショナル研修会 アンケート集計結果

(受講者数：33名 回答数：33枚)

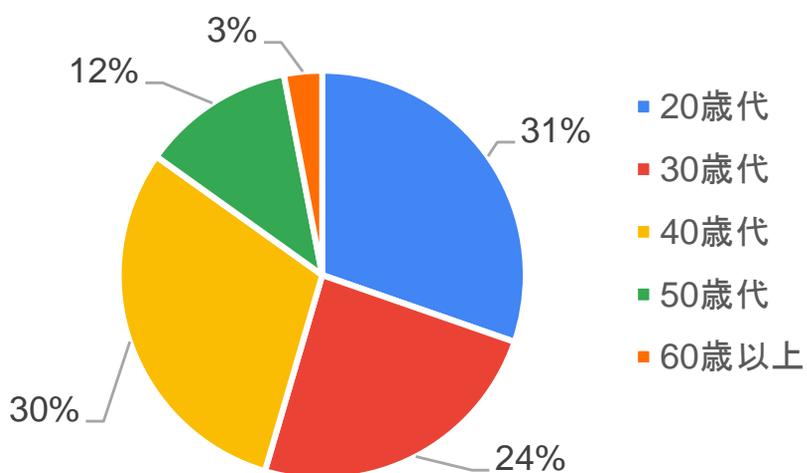
## (1) 性別

男性：12名  
女性：21名



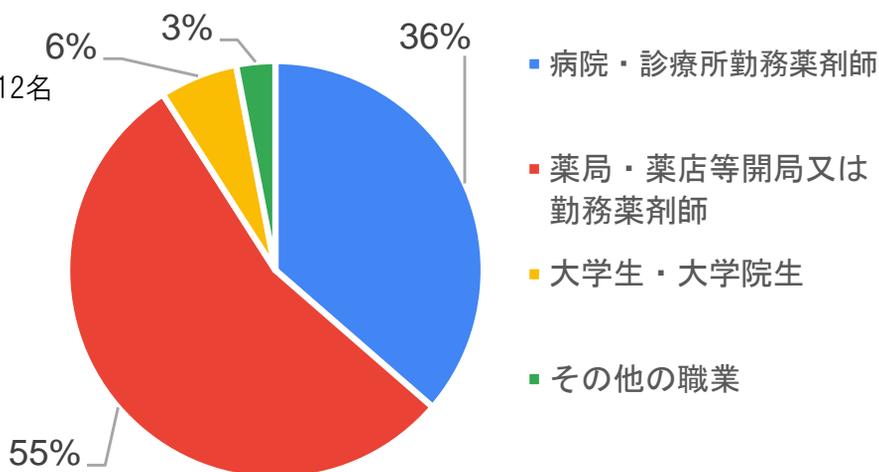
## (2) 年齢

20歳代：10名  
30歳代：8名  
40歳代：10名  
50歳代：4名  
60歳以上：1名



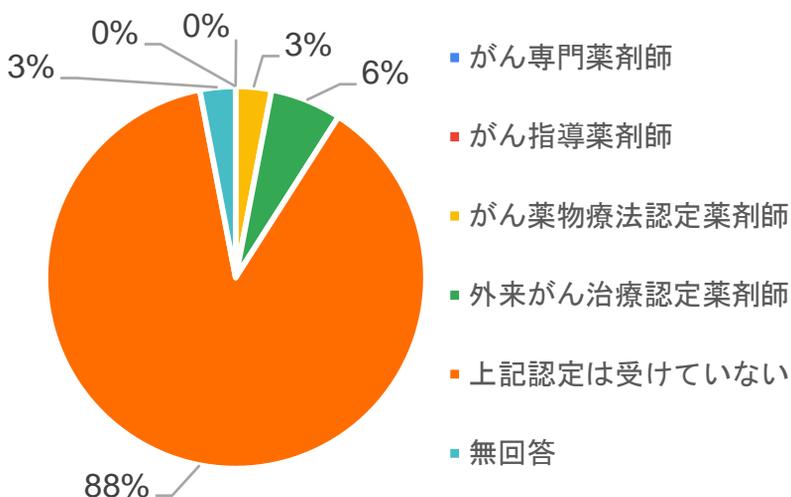
## (3) 職業

病院・診療所勤務薬剤師：12名  
薬局・薬店開局  
または勤務薬剤師：18名  
大学生・大学院生：2名  
その他の職業：1名



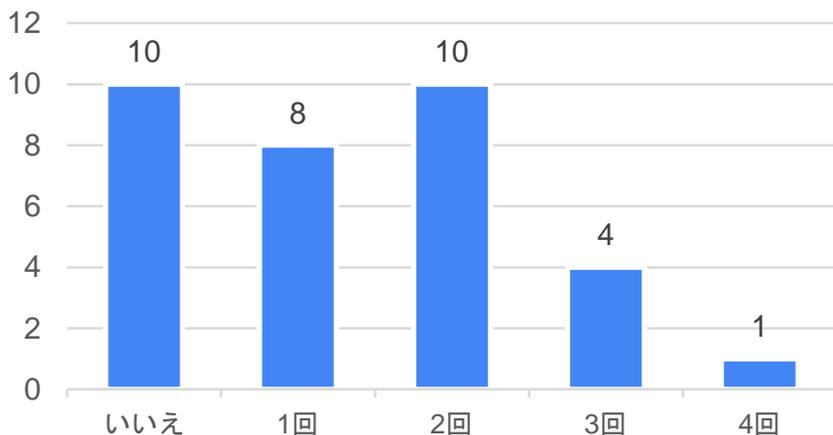
(4) 資格

がん専門薬剤師：0名  
 がん指導薬剤師：0名  
 がん薬物療法認定薬剤師：1名  
 外来がん治療認定薬剤師：2名  
 上記認定は受けていない：29名  
 無回答：1名



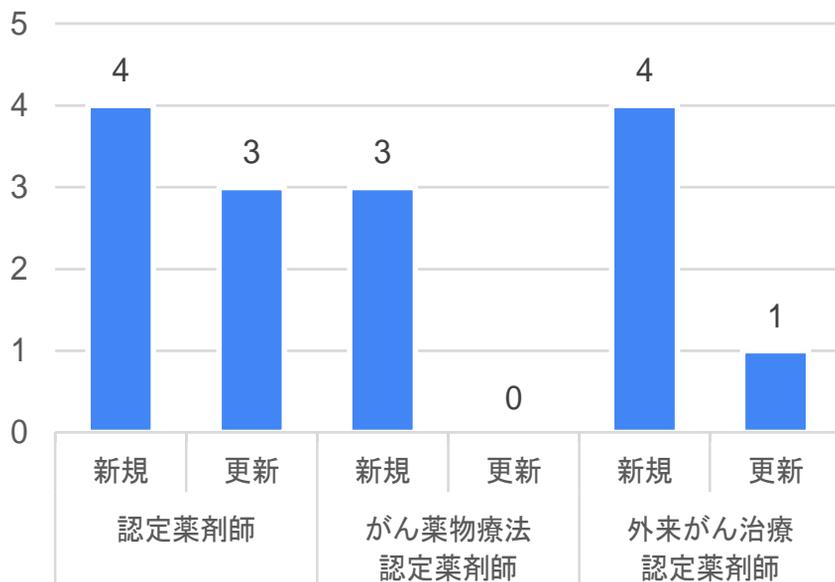
(5) 過去に本研修会に参加していただいたことはありますか

はい：23名  
 (1回…8名、2回…10名、  
 3回…4名、4回…1名)  
 いいえ：10名



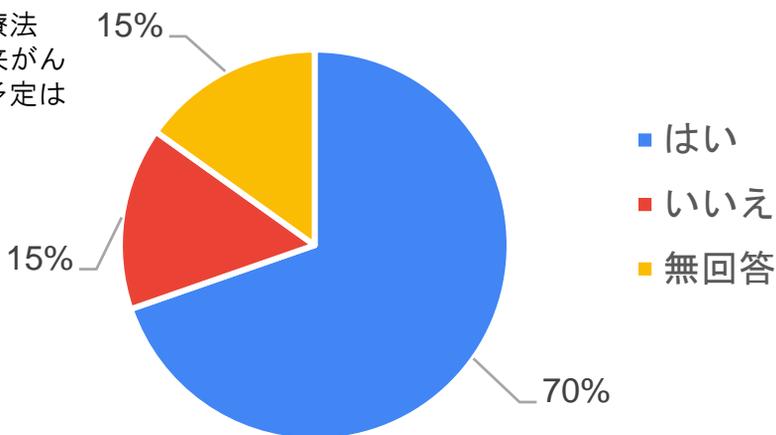
(6) 過去に本研修会に参加され、取得された認定単位をどのように使用されましたか

認定薬剤師 ……新規：4名  
 ……更新：3名  
 がん専門薬剤師…新規：3名  
 ……更新：0名  
 外来がん治療認定薬剤師 ……新規：4名  
 ……更新：1名



(7) 今後、がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、がん指導薬剤師、外来がん治療認定薬剤師の資格を取得する予定はありますか

はい：23名  
 いいえ：5名  
 無回答：5名

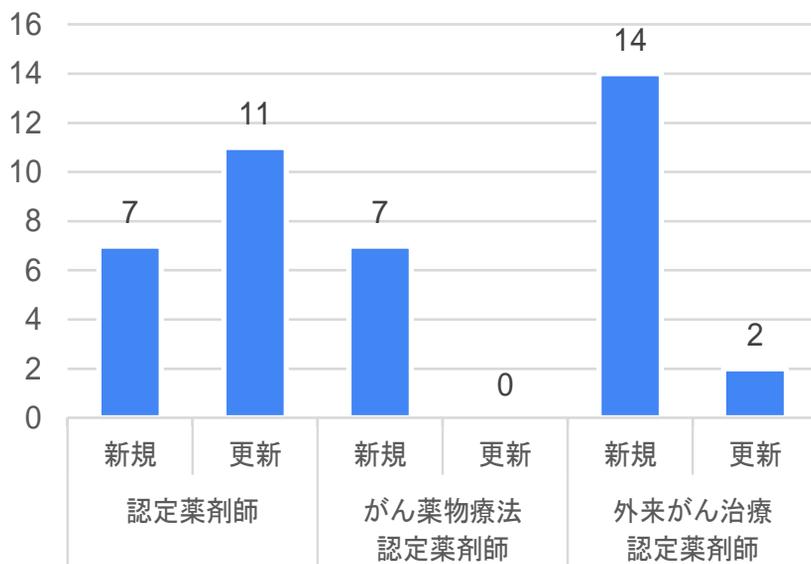


(8) 今回取得する認定単位をどのように使用しますか（複数回答可）

認定薬剤師 ……新規：7名  
 ……更新：11名

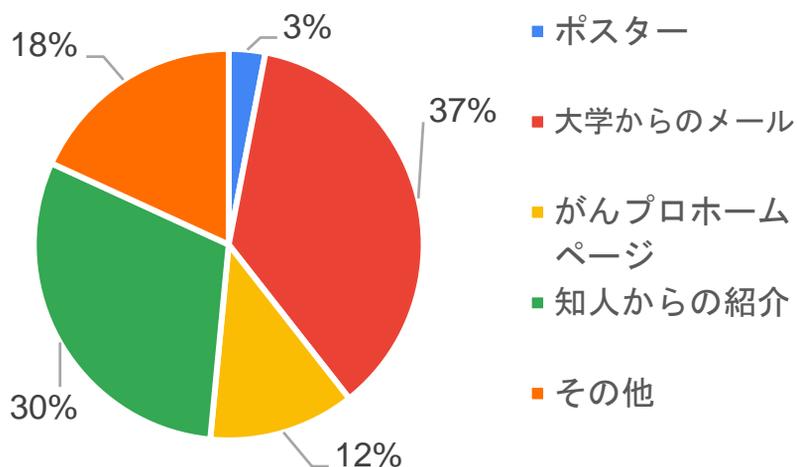
がん専門薬剤師…新規：7名  
 ……更新：0名

外来がん治療認定薬剤師 ……新規：14名  
 ……更新：2名



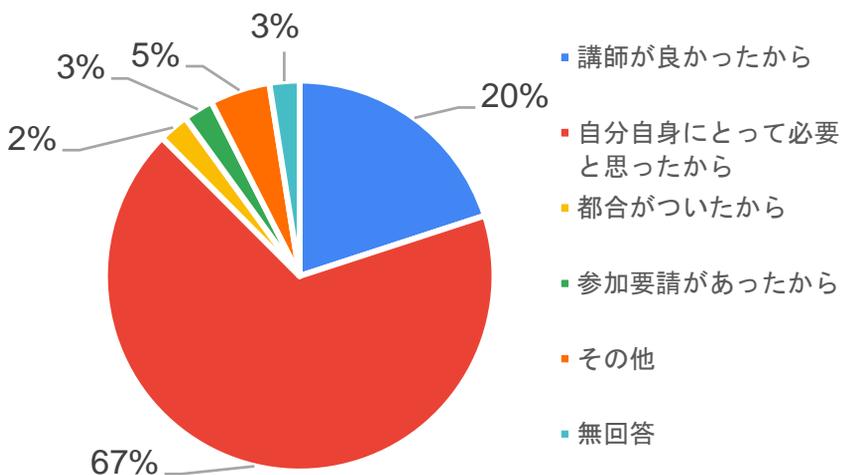
(9) 本研修会は、どのような方法で知りましたか。

ポスター：1名  
 大学からのメール・通達：12名  
 がんプロホームページ：4名  
 知人からの紹介：10名  
 その他：6名



(10) 本研修会に参加していただいた理由は何でしょうか(複数回答可)

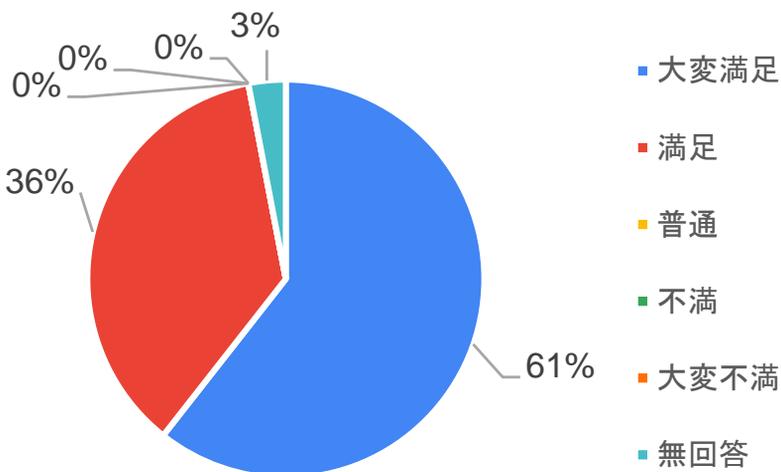
講師が良かったから：8名  
 自分自身にとって必要と思ったから：27名  
 都合が良かったから：1名  
 参加要請があったから：1名  
 その他：2名  
 無回答：1名



(11) 本研修会の各講演ならびに総合討論について感想をお聞かせ下さい。

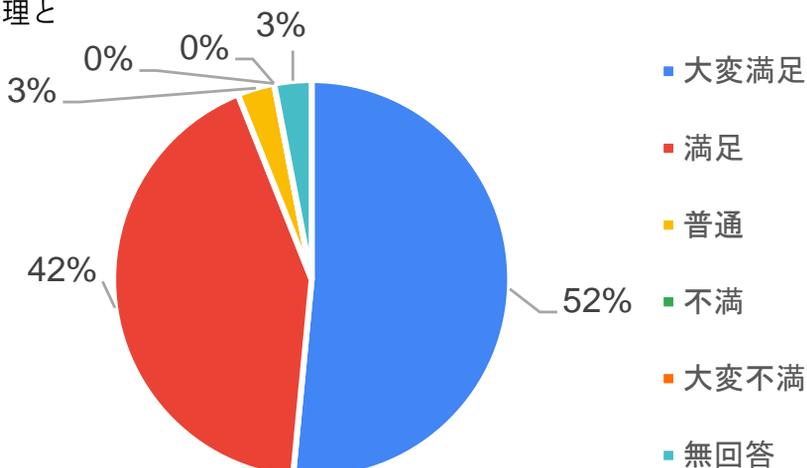
講演  
「胃がんの病態生理」

大変満足：20名  
 満足：12名  
 普通：0名  
 不満：0名  
 大変不満：0名  
 無回答：1名



講演  
「免疫チェックポイント阻害薬の薬効薬理と副作用マネジメント」

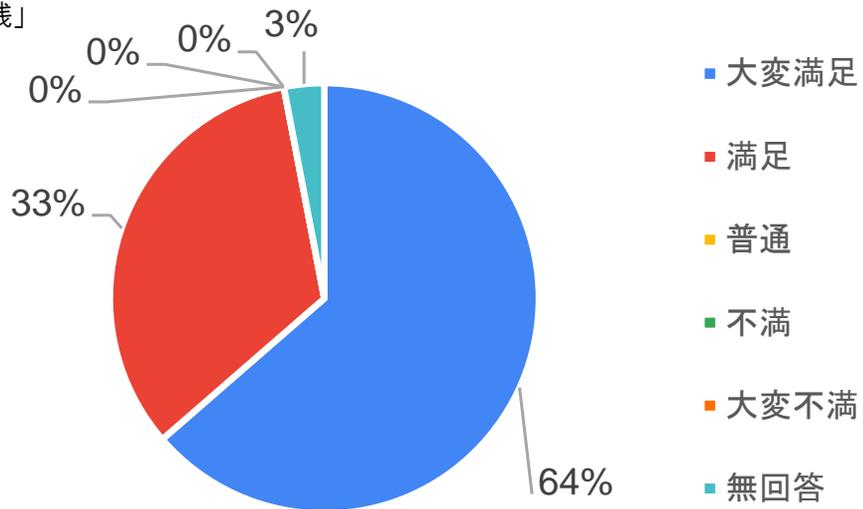
大変満足：17名  
 満足：14名  
 普通：1名  
 不満：0名  
 大変不満：0名  
 無回答：1名



## 症例検討

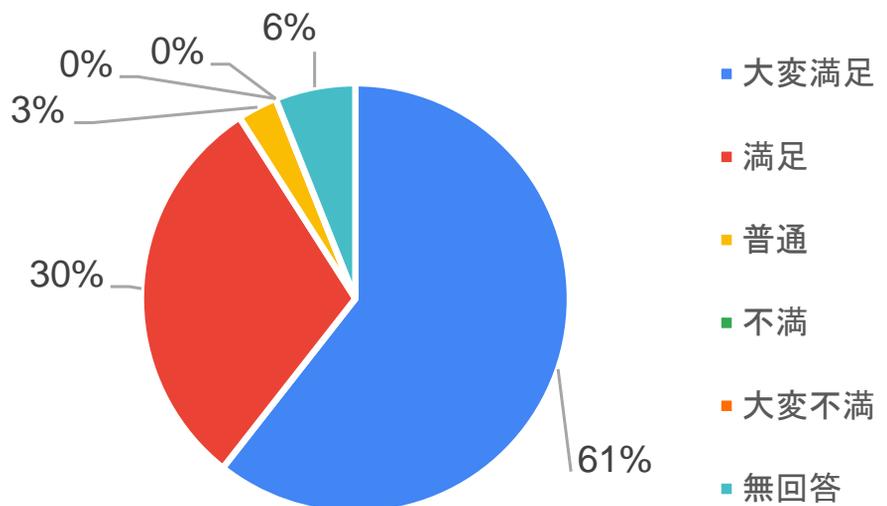
「免疫チェックポイント阻害薬を投薬されている患者に必要なフォローアップの実践」

大変満足：21名  
満足：11名  
普通：0名  
不満：0名  
大変不満：0名  
無回答：1名



## 総合討論

大変満足：20名  
満足：10名  
普通：1名  
不満：0名  
大変不満：0名  
無回答：2名

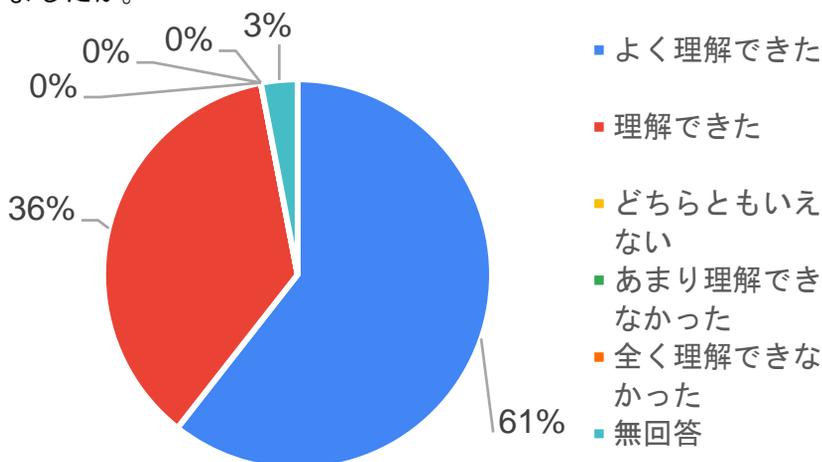


講演、総合討論にご意見があればお聞かせください

- ・ 早期にグループディスカッションに移行していただいたので、それぞれ活発に意見、発言ができてよかったです。ファシリテーターの先生方も幅広く見ることに導いていただき勉強になりました。
- ・ Drに基礎的なところから講義してもらえたのがよかったです。また討論も意見が活発でよかったと思います。
- ・ 基礎からわかりやすく教えていただいて、とても役立ちます。
- ・ 各自、気がついた事を意見を出しあうのはよい。最後の解説で模範解答により理解が深まった。

(12) 研修会の内容について理解できましたか。

よく理解できた：20名  
 理解できた：12名  
 どちらともいえない：0名  
 あまり理解できなかった：0名  
 全く理解できなかった：0名  
 無回答：1名

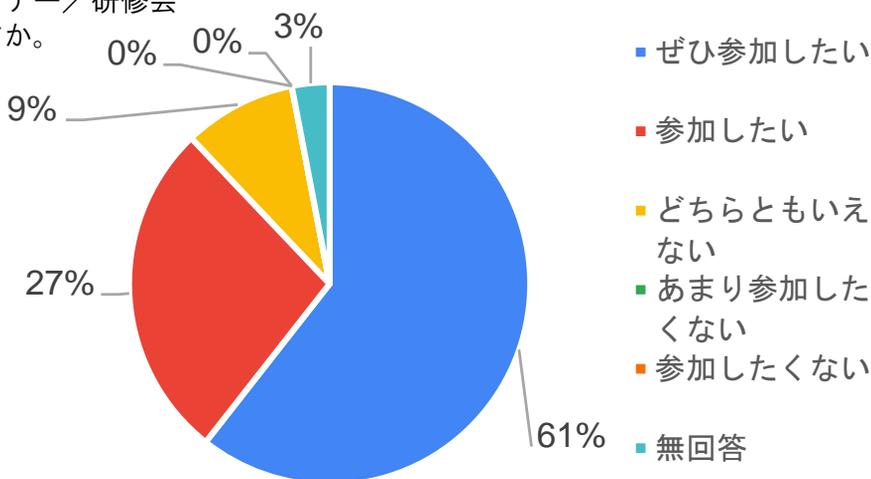


(13) 研修会に関する感想、ご意見などを自由にお書きください。

- ・満足しています。免疫チェックポイント阻害薬を使用している患者さんの今後の服薬指導に活かしていきたいと思います。また、自分だけでなく、今回参加出来なかった他のスタッフにも、今日学んだことを伝えたいと思います。
- ・SGDは、病院薬剤師の人や大学院の人と一緒に、自分の知らないことをたくさん聞けました。とても良い経験になりました。
- ・病院薬剤師さんのお話をグループディスカッションで聞くことができとても勉強になりました。本を読むだけではわからない臨床でのお話が聞けて充実した時間でした。もっと勉強したいです。
- ・irAEマネジメントは難しいですが、症状から様々な病態を考えることができ、勉強になりました。

(14) 今後のシンポジウム／セミナー／研修会にも参加したいと思いますか。

ぜひ参加したい：20名  
 参加したい：9名  
 どちらともいえない：0名  
 あまり参加したくない：0名  
 参加したくない：0名  
 無回答：1名



(15) 今後、多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェSSIONAL）」養成プランの企画等への希望や期待することなど、自由に意見をお書きください。

- ・今回のように、一種類のことを深く学べる研修会を何回も行うことで、知識が広がると感じました。また、SGDも自分の考えなかったことを他の方が言ってくれるので、よい研修方法だと思います。
- ・知識に加え、現場でどう介入していくか、（考え方や行動にフォーカスをあてた）内容の力をつけていきたいです。

# 胃がんの病態生理

国立がん研究センター中央病院 消化管内科

医長

高島 淳夫

**高島 淳生 (たかしま あつお)**

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 消化管内科 医長

**【学歴・職歴】**

2001年3月 滋賀医科大学医学部医学科卒業  
2004年6月 国立がんセンター中央病院 内科レジデント  
2007年4月 国立がんセンター中央病院 消化管内科がん専門修練医  
2008年6月 JCOG運営事務局 研究支援部門併任  
2009年4月 国立がんセンターがん対策情報センター 臨床試験支援部  
医学統計室長/JCOG運営事務局 研究支援部門  
2012年9月 国立がん研究センター中央病院 消化管内科 医員  
2017年9月 国立がん研究センター中央病院 消化管内科 医長  
現在に至る

**【参考文献/サイト】**

胃癌治療ガイドライン 医師用 2018年1月改訂 第5版 金原出版  
新臨床腫瘍学(改訂第5版): がん薬物療法専門医のために 南江堂  
国立がん研究センターがん情報センター  
<https://ganjoho.jp/public/cancer/index.html>

# 免疫チェックポイント阻害薬の薬効薬理と 副作用マネジメント

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 主任

葉山 達也

**葉山 達也**（はやま たつや）

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 主任

**【学歴】**

2002年 3月 日本大学薬学部 卒業

2003年 3月 日本大学大学院薬学研究科博士前期課程 中退

2011年 3月 日本大学大学院薬学研究科博士後期課程 博士（薬学）取得

2011年 4月 日本大学薬学部客員研究員

2019年 3月 日本大学薬学部客員研究員 任期終了

**【職歴】**

2003年 4月 日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 入職

2015年 4月 日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 主任

現在に至る

**【資格】**

日本医療薬学会：がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、認定薬剤師

日本病院薬剤師会：がん薬物療法認定薬剤師

**【所属学会】**

日本臨床腫瘍学会

日本臨床腫瘍薬学会(筆記試験小委員会 副委員長)

日本がんサポーターブケア学会

日本癌学会

日本癌治療学会

日本医療薬学会

日本薬学会

**【主要著書】**

アドヒアランスに着目した 経口抗がん薬 服薬支援マニュアル 南山堂

がん化学療法レジメン管理マニュアル 第3版 医学書院

整理して理解する抗がん薬

## **〔 症例検討 〕**

# **免疫チェックポイント阻害薬を投薬されている 患者に必要なフォローアップの実践**

公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部

小林 一男

小林 一男（こびやし かずお）

公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部

**【学歴・職歴】**

2007 年 共立薬科大学薬学部薬学科 卒業

2009 年 慶應義塾大学大学院薬学研究科医療薬学専攻博士前期課程修了

2009 年 公益財団法人がん研究会有明病院入職

2019 年 公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部 病棟チーフ

**【参考文献/サイト】**

がん免疫療法ガイドライン第2版,編集 日本臨床腫瘍学会,金原出版,2019年

胃癌治療ガイドライン医師用第5版,編集 日本胃癌学会,金原出版,2018年

国立がん研究センターがん情報サービス

[https://ganjoho.jp/public/dia\\_tre/treatment/immunotherapy/immu02.html](https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/immunotherapy/immu02.html)

2021年1月17日(日)

13:30～15:00

慶應義塾大学 芝共立キャンパス

2021年度

慶應義塾大学薬学部 公開講座

第2回 がんプロフェッショナル研修会

---

◆ 講演

「抗がん剤」って「発がん性」があるんです！

～抗がん薬を使うとき、一緒に暮らす家族って危険なの？

対策は必要なの？～

埼玉県立がんセンター 薬剤部 副技師長 中山 季昭

受講者： 名

中山 季昭 (なかやま としあき)

埼玉県立がんセンター 薬剤部 副技師長

**【学歴・職歴】**

1995年 3月 東京薬科大学 薬学部 薬学科 卒業  
1995年 4月 愛友会 上尾中央総合病院 薬剤部  
1996年10月 埼玉県川越保健所 食品監視検査担当  
1999年 4月 埼玉県立がんセンター薬剤部  
2012年 4月 埼玉県立がんセンター薬剤部 副技師長  
2017年 4月 埼玉県立小児医療センター 薬剤部 副技師長  
2020年 4月 埼玉県立がんセンター 薬剤部 副技師長  
現在に至る

**【所属学会】**

日本がん治療学会 (代議員)  
日本臨床腫瘍学会 (協議員)  
日本医療薬学会 (代議員)  
日本臨床腫瘍薬学会 (渉外委員会副委員長)  
日本がん薬剤学会 (理事)  
抗がん剤曝露対策協議会 (理事・教育委員)  
日本緩和医療薬学会  
日本病院薬剤師会  
埼玉県病院薬剤師会 (生涯研修センター・実施委員会・専門研修部会 がん領域担当委員)



2020 年度 慶應義塾大学薬学部  
第2回がんプロフェッショナル研修会  
市民公開講座 WEB 開催

# 「抗がん薬」って 「発がん性」があるんです！

～抗がん薬を使うとき、一緒に暮らす家族って  
危険なの？対策は必要なの？～

実は多くの抗がん薬には「発がん性」や「催奇形性（奇形児が生まれること）」といった毒性があるのです。では患者さんと一緒に暮らすご家族に危険性は無いのでしょうか？本講演では、このような患者さんご家族の危険性と必要な対策について紹介します。対策不足だけでなく過剰な対策も不幸を招きます。必要な対策のみを適切に行い、余計な不安を払拭し、家族みんなが笑顔になれる治療に繋がしましょう！

## 【日程】

2021年1月17日（日）13:30-15:00

見逃し配信あり

無料

## 【講師】

埼玉県立がんセンター 薬剤部

副技師長 中山 季昭

定員：200名（事前申込制・先着順）

対象：どなたでも

申込方法：Web 事前申込ページから

申込締切：2021年1月11日（月・祝）

↓ Web 事前申込ページ ↓



<https://forms.gle/fNXoVELXFZxZrkBJ6>

■主催：慶應義塾大学薬学部

■共催：文部科学省 多様な新ニーズに対応する

「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン

- 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン -

■お問合せ先：慶應義塾大学大学院

薬学研究科がんプロフェッショナル事務局

〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30

FAX：03-5400-2633

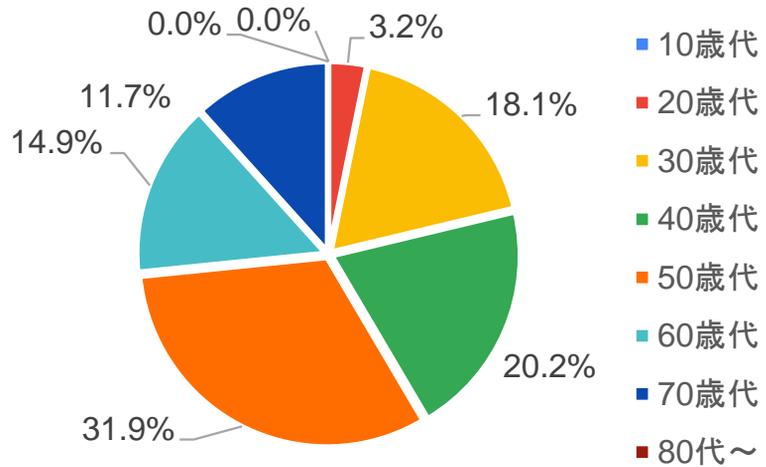
Email：[kyg-sympo2@adst.keio.ac.jp](mailto:kyg-sympo2@adst.keio.ac.jp)

# 第2回 がんプロフェッショナル研修会 アンケート集計結果

(受講者数：228名 回答数：96枚)

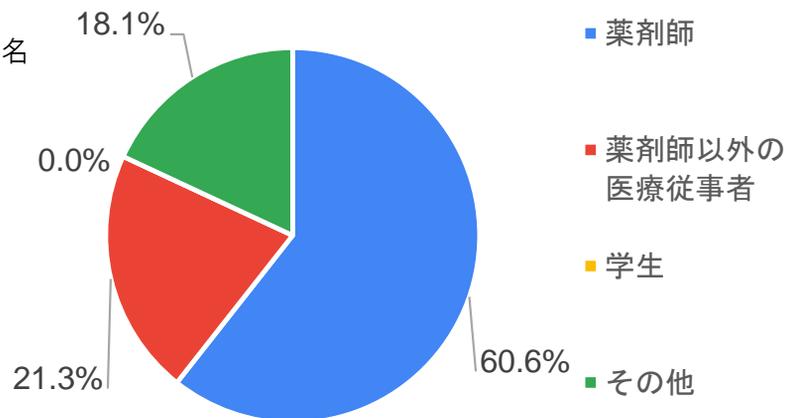
## (1) 年齢

10歳代：0名  
 20歳代：3名  
 30歳代：17名  
 40歳代：19名  
 50歳代：30名  
 60歳代：14名  
 70歳代：11名  
 80歳代～：0名



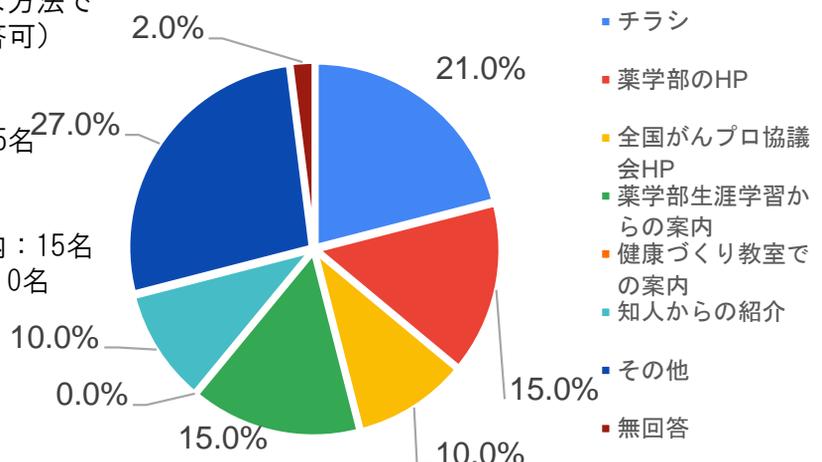
## (2) 職業

薬剤師：57名  
 薬剤師以外の医療従事者：20名  
 学生：0名  
 その他：17名



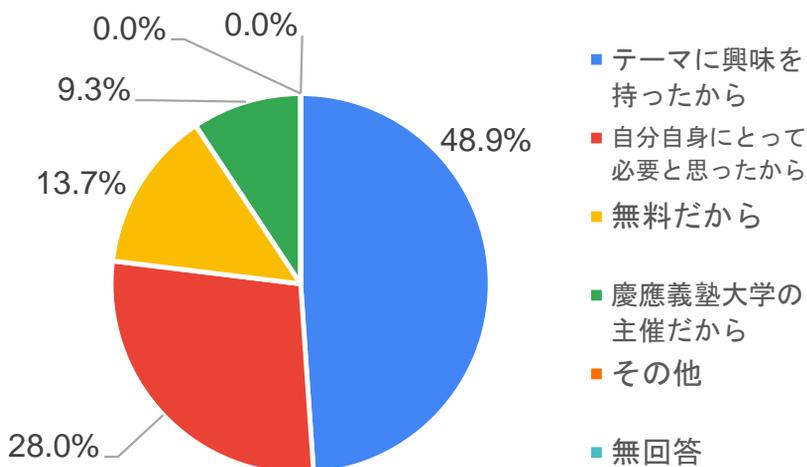
## (3) 本研修会は、どのような方法で 知りましたか（複数回答可）

チラシ：21名  
 薬学部のホームページ：15名  
 全国がんプロ協議会  
 ホームページ：10名  
 薬学部生涯学習からの案内：15名  
 健康づくり教室での案内：0名  
 知人からの紹介：10名  
 その他：27名  
 無回答：2名



(4) 本研修会に参加していただいた理由は何でしょうか（複数回答可）

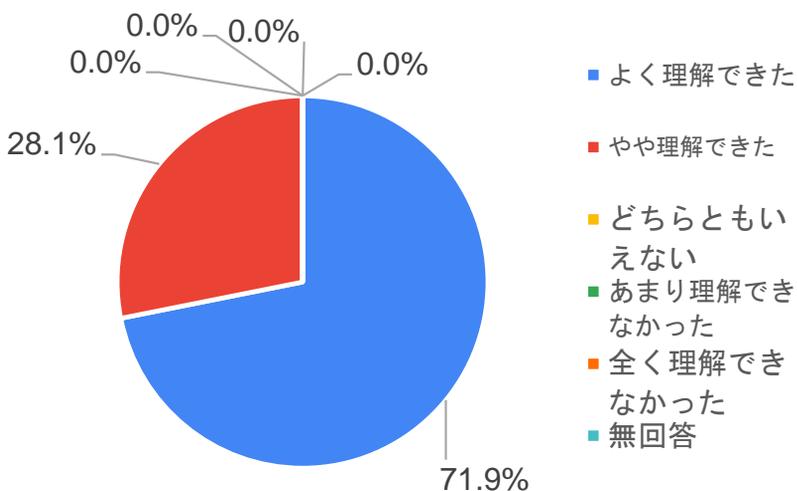
テーマに興味を持ったから：89名  
 自分自身にとって必要と思ったから：51名  
 無料だから：25名  
 慶應義塾大学の主催だから：17名  
 その他：0名  
 無回答：名



(5) 本講座の内容について

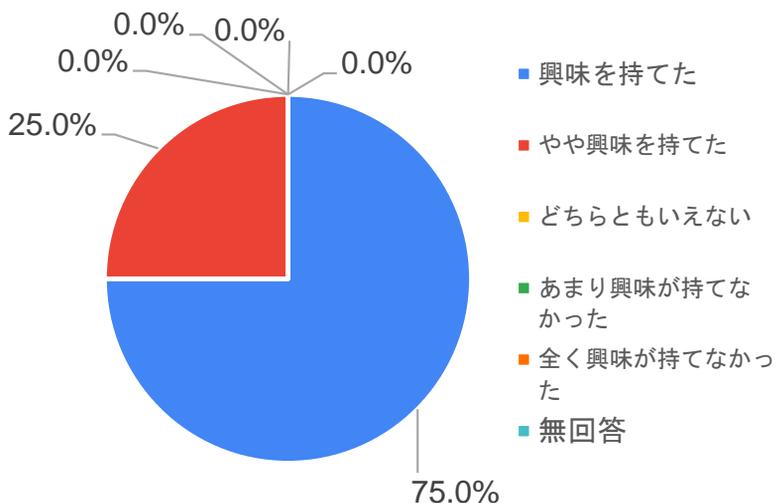
内容は理解できましたか

よく理解できた：69名  
 理解できた：27名  
 どちらともいえない：0名  
 あまり理解できなかった：0名  
 全く理解できなかった：0名  
 無回答：0名



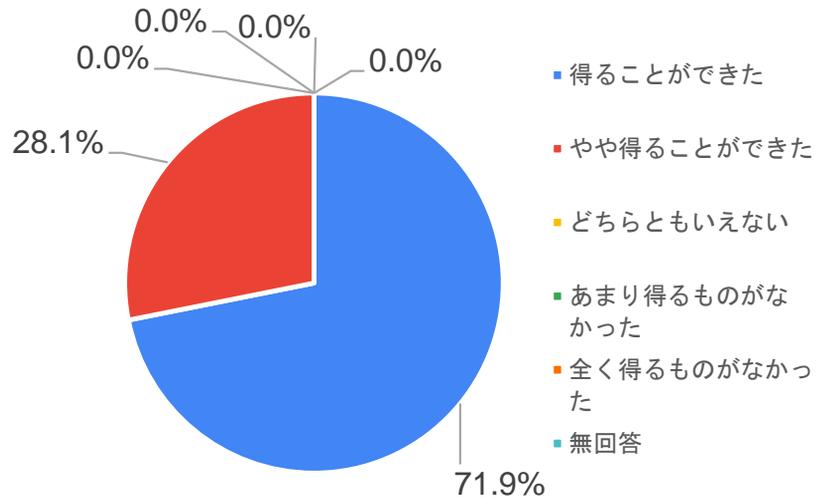
テーマに対して興味を持ってましたか

興味を持てた：72名  
 やや興味を持てた：24名  
 どちらともいえない：0名  
 あまり興味が持てなかった：0名  
 全く興味が持てなかった：0名  
 無回答：0名



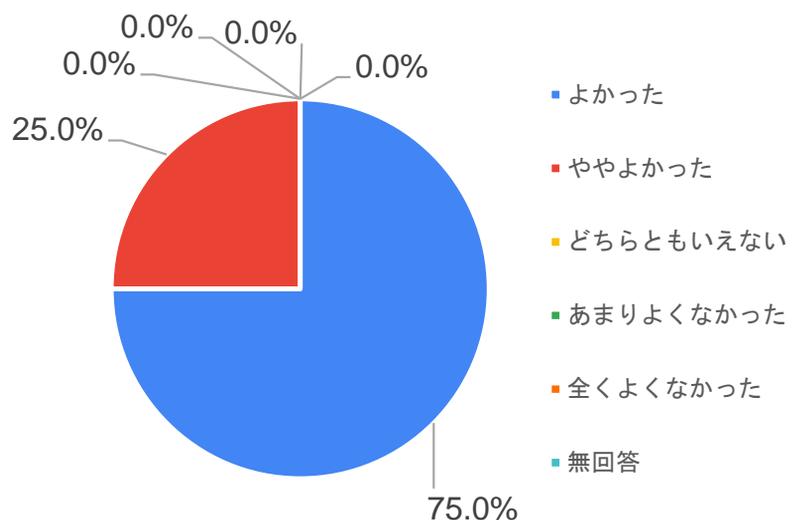
## 役立つ知識を得ることができましたか

得ることができた：69名  
やや得ることができた：27名  
どちらともいえない：0名  
あまり得るものがなかった：0名  
全く得るものがなかった：0名  
無回答：0名



## 参加してよかったと思いますか

よかった：72名  
ややよかった：24名  
どちらともいえない：0名  
あまりよくなかった：0名  
全くよくなかった：0名  
無回答：0名



## (6) 本講座のご感想をお聞かせください

- ・webセミナーで聴講できるのがありがたい
- ・あまり公開されていない副作用について説明され、情報公開や透明性の必要性を感じた。
- ・がんについて日常的な対策で対応できる事に感慨深く思いました。素晴らしい講演ありがとうございました。
- ・がん患者の家族がいるので不安に思っていたことが少しわかりました。
- ・がん患者を支える家族に寄り添ってくれる、大変わかりやすい言葉での講演でした。過剰に不安にならず、家族の絆を大切にしたいと思います。
- ・これまで曖昧であった点が良くわかり、大変参考になりました。
- ・とても、わかりやすい表現で業務に生かしやすいと感じました。
- ・とてもわかりやすい講座でした。エビデンスに基づき、理解できました。化学療法を受けられる方に、寄り添えたらと思います。
- ・とてもわかりやすく必要な情報が得られた
- ・とても解り易くご説明戴き知見を深めることが出来ました。ありがとうございます。
- ・とても分かりやすく自分にも大変勉強になりました。抗がん剤を扱う人数はさほど多くはないですが、在宅メインの調剤薬局のため、直接患者さんやそのご家族にお話し出来る内容だと思いました。
- ・なかなか良いテーマで薬学実習生にも伝えたいと思います
- ・リスクとベネフィットを秤にかけ治療はたくさんあります。お一人お一人の患者さま ご家族に必要な情報を適切にアドバイスしていきたいと思いました。

(6) 本講座のご感想をお聞かせください(続き)

- ・わかりやすい説明で非常に分かりやすかったです
- ・わかりやすくとてもよかったです
- ・以前から曝露に関して気に留めていました。本日の講演で知識を整理し明日からの業務に役立てたいと思います。
- ・医療現場での対応と患者さんの生活場面での対応について、その違い等知識の整理ができたと思います。
- ・医療従事者の曝露についてだけでなく患者様やご家族に対しての具体的な指導方法もあり業務に役立ちます。とてもわかりやすかったです。
- ・一般向けということもあり、理解しやすかったです。家族の心配も解消されると思いました。
- ・化学療法室で勤務している時に患者さんからの質問されたことで、自分のアドバイスが不適切ではなかったことや、現在外科病棟で勤務に当たっている中で曝露対策もできていることがわかり安心しました。後輩への指導や患者家族への指導も自信をもって出来ると思います。ありがとうございました。
- ・患者、患者家族への指導内容が良くわかりました。PTPシート調剤時の手袋着用は初めて聞き勉強になりました。
- ・患者さんが不安が強くなるよう、できる限り生活普段と変わらず継続できるように支援していく大切さを改めて感じました。具体的な数字がわかり、非常にわかりやすかったです。
- ・患者さんへの服薬指導や相談に有意義でした。
- ・患者の不安をこぼしてあげると言う言葉が印象に残りました。
- ・患者や家族への対応策を得ることができて今後役に立てたい
- ・患者をむやみに安心させるのではなく、不安をこぼしてあげる指導が大切と分かった。
- ・看護師ですが、曝露について安易に考えていた点があり、今回は講義をうけてPPEの重要性を再認識しました。
- ・癌患者や家族への指導で今まで気が付かなかった事が多く参考になった。
- ・興味深い話で参考になりました
- ・勤務する調剤薬局ではホルモン系の抗がん剤が中心で、取り扱いに注意を要するものを調剤することは最近はありません。しかし、以前ほどの程度注意すべきか迷いながら、年配者が主として調剤し、手洗いをする程度でした。今回の講義で、注意点、患者さんへの指導について、かなり明確に理解できたと思います。講義はていねいで、スピードも適正でよかったです。また、さかのぼって、振り返りながら視聴できるのもありがたかったです。主催いただきました皆様に感謝いたします。
- ・具体例や分かり易い比較を取り入れてくださり大変勉強になりました。
- ・現実的に、患者さんへの投薬時、質問への回答例など大変役に立った。
- ・個々の患者様への対応、服用に重点を置くだけでなく生活面での重要性について患者様の気持ちの面で配慮すべきこと、これから生かして行きたいです。
- ・抗がん剤の取り扱いについてまたくしなかったのが、勉強になった。
- ・抗がん剤の取扱いはあまりにも身近で曝露についてそれほど考えた事はありませんでした。今後、患者様の不安を理解して、自分の仕事にも生かしていきたいと思いました。
- ・抗がん剤の調剤はあるが、今まで家族から曝露についての相談を受けることはあまりなかった。今後の質問対応や業務対策に役立てたい。
- ・抗がん剤の曝露をあまり気にしなかったのがなかったので、お話は有益でした。
- ・抗がん剤の発がん性について、認識を新たにし考え方も学ばせていただきました。ありがとうございました。
- ・抗がん剤の曝露リスクと対策が良く理解できた。
- ・抗がん剤曝露という言葉は初めて知りました。知人に抗がん剤を使用している人がおり、副作用の存在や二次がんのことも知識としては知っていました。曝露については、一般人は心配する必要はないということですが、抗がん剤を取り扱う医療従事者の方々には感謝申し上げなければならないと思いました。
- ・抗がん剤の発がん性と被曝対策についてよく理解できました。
- ・今まで正直、抜けていた点で、非常に役に立ちました。
- ・最後のまとめが特に良かった
- ・市民公開講座ということもあり、医療者でなくても、理解しやすい簡単な文言を使用して講演してくださったので、理解しやすかったです。また、日々行う退院支援にも役立つ有益な情報もたくさんあり、非常に勉強になりました。

(6) 本講座のご感想をお聞かせください(続き)

- ・市民講座のため患者さんへの対応についてとても分かりやすく解説していただけて薬剤師もとても勉強になりました
- ・自分自身が在宅医療にかかわっているの、家庭での患者さんの指導に役立てる事ができると思いました
- ・質問をされたときに自信をもって答えられるヒントになりました
- ・取り扱いが少いこともあるが、抗がん剤による発ガン性をあまり考えたことがなかったため、すごく興味深く拝見させていただきました。オンデマンドでの視聴のため、メモをとりながらしっかりと学ぶことができ、とても良かったです。今後、今日は学んだことを活かしていけたらと思います。子育て中のため勉強会やオンラインセミナーなど時間带的に諦めざるを得ないものが多いなか、視聴可能時間が長いこちらの講座は、とてもありがたかったです。感謝いたします。
- ・初めて知る内容が多くあり、知見が広がりました。正しい理解と対処をもって冷静に癌と向き合うことの大切さを学ぶことができました。今後も医療従事者のみならず広く一般に向けて、今回のようにわかりやすく解説いただくと大変助かります。どうもありがとうございました。
- ・職業性抗がん薬曝露対策をそのまま患者指導に適用せず、患者や家族の生活や個別性に沿った指導が大切ということが学べました。今後の患者指導に活かせればと思います。
- ・知らないことも結構あり役に立った
- ・当院の看護師に、このテーマの内容も理解してほしいと思い、自分も参加しました。看護師にも必要な説明の内容が理解できる講義だったと思いました。
- ・日常生活に密接するテーマであり、きちんと答えられないと余計に不安にさせてしまうと思った。中山先生の話に吸い込まれていく話術もさすがでした。
- ・認識不足でしたのでとても勉強になりました。
- ・非常に噛み砕いたわかりやすい講演で、とても勉強になりました。抗がん剤を服用されている患者さんの来局はあまり多くありませんが、ヒートシールにも少量の暴露がある事を伺い驚きました。今後の抗がん剤の扱いに更に気をつけていきたいと思います。大変貴重な講演 ありがとうございます。
- ・普段の職務(調剤薬局での調剤・服薬指導)であまり抗がん薬の取り扱いが多くない職場のため、曝露対策への意識が低くなって大いに反省させられた内容でした。抗がん薬服用中の患者さんへの服薬指導時のアドバイスとして(例えばご家庭での対策等)今回の講演で得られた知識を活かして今後は適切な助言ができるようにしたいと思います。
- ・普段は抗がん剤の扱いはありませんが、薬局で患者さんに指導できる機会があれば参考にしたいです。
- ・普段抗がん剤を取り扱う看護師ですが、患者さんへの対応や説明の仕方にこれから活かしていきます。ありがとうございました。
- ・分かりやすく大変良かったです。
- ・勉強になりました。説明が身近な事例も取り入れて行っていただき、とても聞きやすかったです。
- ・薬局での抗がん薬の取り扱いについて、見直したいと思った
- ・薬局薬剤師ですが医薬品の曝露についてはあまり気にしていなかったのでも参考になりました。また一般向けと専門向けに分けてあったことも良かったです。

(7) 今後受講されたい講座のテーマ・講師など、ご希望をお書きください

- ・AYA世代の化学療法を、薬剤師の視点から教えてください。
- ・がんゲノム医療について
- ・がんの最新治療について
- ・コロナウィルスの感染対策、ワクチン接種の現状。今後の展望など。
- ・コロナ後の医療現場の変化として軽症疾患の患者のセルフメディケーション(OTC薬の活用など)が重要になってくると思われるので、その関連の知識が得られるような講演を希望します。
- ・ジェネリックの現状と利用に当たっての留意事項
- ・パーキンソン病患者様のご家族支援について
- ・化学療法の副作用対応について
- ・各種がんの治療方法
- ・抗うつ薬 向精神薬 を沢山飲んでいらっしゃる方へのアドバイスに困ることがあります。減薬につなげるための食生活の改善とか日常生活での不安の取り除き方など知りたいと思います。
- ・抗がん剤、抗菌薬の選択方法・使用法、また例外的な使用法等の講座を希望します

(7) 今後受講されたい講座のテーマ・講師など、ご希望をお書きください

- ・抗がん剤とATC分類について
- ・抗がん剤の副作用
- ・高血圧症治療の長期間使用とそれに伴う副作用について
- ・今回のテーマはすごく役に立ちました。次回も楽しみにしています。
- ・最新の抗がん剤について、効果をそれぞれもっと詳しく知りたい。
- ・在宅医療
- ・循環器系。透析系
- ・新しい治療方法、副作用の捉え方など、さらに詳しく勉強したい
- ・新型コロナの患者数や流行予測等を統計学等により説明して欲しい。
- ・透析患者のケアについて全般
- ・同類の薬の選択基準などの比較解説
- ・麻薬について
- ・末梢神経障害について

(8) その他、ご意見がございましたらご自由にお書きください

- ・data等のevidenceがあった方がよい
- ・PPTを配布あるいは公開して欲しい。
- ・WEB講座でのご準備大変だったと思います。新型コロナのご時世、自宅で拝聴でき非常に助かりました。とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・また機会があれば、ぜひ受講させていただきたいです。ありがとうございました。
- ・開催して勉強させていただき有難うございました。
- ・貴重なご講義ありがとうございました。
- ・勤務している薬局があまり大規模ではないので勉強になりました
- ・後半はとても参考になりました。
- ・抗がん剤は、有難い存在です。今のところ恩恵しかありません。しかし、高額になる医療費など、今後自らががんになった場合、費用を負担できるのかなど、別の心配があります。
- ・今後も（現地集合の講座だけでなく）オンラインで気軽に参加できる講座があればよいと思います。
- ・大変役に立った。講師の先生の話し方も、分かりやすく、有り難かった。
- ・知識がある方は再確認、知識がない方は勉強になったと思います。有意義な講座をありがとうございました。
- ・日曜日でオンデマンド 助かります。継続できそうでよかった
- ・来年の講座を楽しみに致しております。

文部科学省 研究拠点形成費等補助金（先進的医療イノベーション人材養成事業）  
多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン  
— 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン —  
2020年度 活動報告書

発行 慶應義塾大学大学院 薬学研究科  
がんプロフェッショナル事務局  
〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30  
TEL：03-5400-2498 FAX：03-5400-2633

発行日 2021年 3月

連携校

東京医科歯科大学

慶應義塾大学

国際医療福祉大学

聖マリアンナ医科大学

東京医科大学

東京薬科大学

秋田大学

弘前大学